

2009年度入社式 社長説示

2009年4月1日

あいおい損害保険株式会社（社長 児玉 正之）は、本日以下の通り、入社式を執り行いましたのでご報告します。社長の児玉正之による挨拶の要旨は別紙を参照願います。なお、開催日時・採用数は、以下の通りです。

- 【開催日時】 2009年4月1日（水） 午前10：00から
【会 場】 あいおい損害保険株式会社 中央研修所（東京都世田谷区桜上水）
【採用数】 406名（全国型125名、地域固定型281名）
※昨年実績 196名（全国型138名、地域固定型58名）

以上

2009 年度入社式 社長説示

本日、晴れの入社式を迎えられた皆さん、本当におめでとうございます。総勢 400 名を超える多くのフレッシュな新入社員の方々を迎えることができ大変嬉しく思います。

あいおい保険グループの役職員を代表して入社にあたり歓迎の辞を述べたいと思います。

<事業環境について>

まず当社を取り巻く事業環境の変化について皆さんにお話しておきたいと思っています。

一点目は保険市場の動向です。

現在、我が国損害保険業界の主戦場である国内損害保険マーケットは、少子高齢化の進行、ライフスタイル多様化等構造的な変化に直面し、自動車保有台数が初めて減少に転じるなど成熟化が進んでいます。

今後の持続的な成長のためには、国内損保事業における成長マーケットを確保するとともに、事業の多角化やグローバルな事業展開が必須となっています。

二点目はお客様の保護・利便性がより強く求められているという事です。

当社を含め業界においては、ここ数年業務の品質向上に取り組み、お客様の信頼回復に努めてきました。また昨年 6 月には 100 年ぶりに「保険法」が改正され、お客様が安心して保険に加入できる態勢の整備を業界として求められています。

お客様のご満足とご支持こそが成長の源泉であり、商品・サービス・業務運営のあらゆる面において、従来の発想を超えた一段の品質向上を図る為に、不断の経営努力とシステム投資を中心とした経営資源の投入が必要な状況にあります。

三点目は金融市場の動向です。

今般の世界的金融危機により、金融市場は大きく混乱・低迷しました。これが実体経済へ波及し、急激な景気後退局面は長期化の様相を見せています。このような状況のなか、世界の金融業界の勢力図が大きく変貌しつつあります。

当社も、今後の成長の為に、財務基盤の強化と収益力の向上が急務であり、更なる会社変革をすすめていく必要があります。

以上のように、保険業界ならびに当社を取り巻く事業環境は激しく変化しており、大変厳しい環境認識が必要であります。

<3社経営統合・2社合併について>

皆さんも既にご存知の通り、世界トップ水準の新たな保険金融グループの形成を目指し、当社とニッセイ同和損保、三井住友海上グループは3社の経営統合および業務提携、また当社とニッセイ同和損保の合併に関する協議を進めていくことに合意し、2009年1月23日に発表いたしました。

先ほど申し上げた環境認識と危機感を共有し、一層の品質向上・成長戦略の再構築を通じ、国内マーケットにおいて圧倒的な競争優位を確立すること、さらに世界の有力プレーヤーと伍して戦っていくためには、スピード感を持って飛躍的に事業基盤と経営資源の質・量の拡大を図ることが必要であり、経営統合を行うことがベストであるとの認識で一致したものです。この3社の組み合わせは、国内・海外を通じて相互補完性が高く、各社の強みを活かせるバランスの取れた最適な組み合わせであると考えています。

皆さんにとっても今後大いに活躍のできるフィールドが広がることとなり、様々な経験を通じ自己実現ができるチャンスが生まれることとなります。

国内トップの損害保険グループとしての自覚と誇りを持って、仕事に取り組んでもらいたいと思います。

<当社の経営方針について>

本年度はあいおい保険グループとしての最終仕上げとなる重要な年であり、そこに皆さんが新たな仲間として入られたわけです。新鮮な発想と若々しい力を持った皆さんと共に、大きな課題に積極的にチャレンジして行きたいと思えます。

厳しい環境を今後の持続的な成長に向けた体質改善のチャンスと捉え、「品質の向上」と「収益力の強化」を柱に、2009年度中にあいおい損保として完了・解決する課題、新会社に継承する基盤づくりの為の課題を明確にし、確実に成果を挙げていかなければなりません。

まずは、今こそ原点に立ち返って、保険会社の基本機能である、商品・サービス、保険募集業務、損害サービス・支払業務を最優品質でお客様に提供すること。更には当社の得意分野を更に強化し成長性を維持し、同時に業務プロセスを徹底的に見直すことを通じ高い収益を確保することでお客様、代理店、株主、社会から継続的な支持を獲得すること。また、そのことが社員の誇りと、更なる向上を目指すモチベーションアップに繋がるという、好循環サイクルを確立することが必要です。

あらゆるステークホルダーの満足こそが持続的な成長の源泉であると確信し

ます。全社員が厳しい環境を正しく理解し、経営統合・合併の理念・目的や目指す姿を共有して、スピード感を持って自らの課題に取り組まなければなりません。

<当社の人材育成について>

企業の永続的な発展ならびに事業活動・業務品質を支えるのは「人材」です。私は仕事に誇りを持ち、常に謙虚さと向上心を忘れない「人づくり」こそが経営者の責任であると考えています。

2007年度から全国型新入社員を損害サービス部門を中心に配属しています。これはひとえにお客様本位の会社を目指す当社として、お客様接点の最も多い職場であるサービスセンターにおいて商品内容・保険金支払実務の基本知識を正しく習得して、お客様に能動的に接することにより、コミュニケーションの大切さを体得してもらうために実施しています。今年度もこの方針に基づいて配属したいと考えています。一定期間の損害サービス部門を経験したのち、計画的に人事ローテーションを行い他部門の知識・経験を積み育成していきます。

<心がけて欲しいこと>

全役職員に対しても常日頃仕事に臨むにあたって次の3つの行動指針をお願いしています。

- ・一つ目は「革新する強い意志と行動」です。
失敗を恐れず、逃げずに正面から挑戦し続ける「意志」を持つこと、また着実に前進するために、まず第一歩を踏み出す「行動」を起こすことです。
- ・二つ目は「攻撃は最大の防御」です。
全員で徹底して攻める、決して受け身に回らないことです。守りは負けに繋がります。
- ・三つ目は「コミュニケーションとチームワーク」です。
全員が目標・課題を共有し一丸となって挑戦し続ける組織を構築することです。対話を通じて信頼関係を構築し、明るく活気溢れる職場づくりを進めるとともに、常に低い目線と高い目標を持ち続けてください。

私も社長として率先垂範で社長就任以来のスローガンである「本気と、勇気と、元気と」をもって全力で頑張ります。皆さんも共に頑張りましょう。皆さんの健康と活躍を祈念・期待して挨拶いたします。